

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	社会保障プロジェクト研究費(社会保障計量分析モデル開発事業)	事業開始年度	平成21年度			作成責任者
担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所	担当課室	総務課			課長 阿部 哲夫
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	社会保障制度に関する計量分析モデルについて、現物給付(医療・介護・福祉等のサービス提供)の特性や、国民経済との関係等を踏まえた開発を行うことにより、従来よりも精緻で応用範囲の広いシミュレーション結果を提示する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障計量分析モデルの開発</li> <li>・社会保障計量分析モデルに基づくシミュレーションの実施</li> <li>・現物給付(医療・介護・福祉等のサービス提供)の特性(サービス提供者の行動による影響等)に着目した経済学的分析による結果の妥当性の検証</li> </ul>					
実施状況	社会保障制度改革と国民経済との相互関係を分析できる計量モデルの構築準備、研究に必要な情報収集活動を実施している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	7	6	6
	執行額	-	-	7		
	執行率	-	-	100%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	7		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	本事業における会議室借用などの契約手続きについては、全て見積合わせにより適正に実施している。また、研究会に出席した委員に対する謝金、その他必要な文献の購入などに対して必要な経費を支出している。				
	見直しの余地	今後も研究内容の質を維持するために必要な執行を確保しつつ、予算の更なる効率化に努める。				
予算監視の・効率化	事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き、効率的な執行に努めること。					
補記						

国立社会保障・人口問題研究所  
7百万円  
会議室借用及び研究会出席謝金

【随意契約】

A ビイズ・コロコ(株)  
0.03百万円  
会議室借用

C 研究会出席謝金  
0.3百万円

(内訳)

O氏	0.06百万円
N氏	0.09百万円
I氏	0.04百万円
K氏	0.03百万円
K2氏	0.03百万円
S氏	0.01百万円
H氏	0.01百万円
Y氏	0.01百万円
F氏	0.01百万円

うち事務費6.7百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

